



令和時代の互助インフラを

スケッターは福祉業界における業界未経験者のマッチングに特化したサービスです

スケッターとは、介護・福祉特化の（**謝礼付**）ボランティアマッチングサービスです。
レクリエーション、清掃、配膳・下膳、傾聴などのお手伝いを依頼したい**〈事業所〉**と、
介護や障害など、福祉領域に関心がある**〈地域住民〉**をマッチングするサービスです。

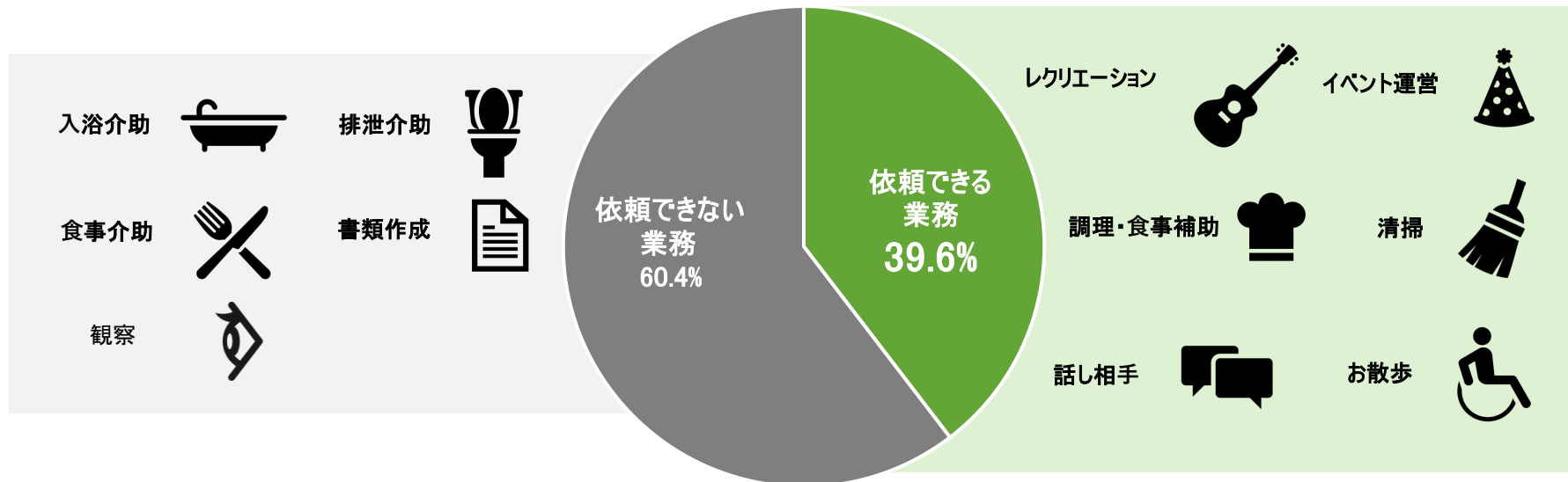


職員だけでなく地域住民に**多様な関わり方**で介護・福祉業界に関わってもらう。

スケッターでは無資格・未経験者でも可能な「**業務の切り出し**」を提案し、
業界外の**潜在的関心層**を巻き込み、関係人口を増やします

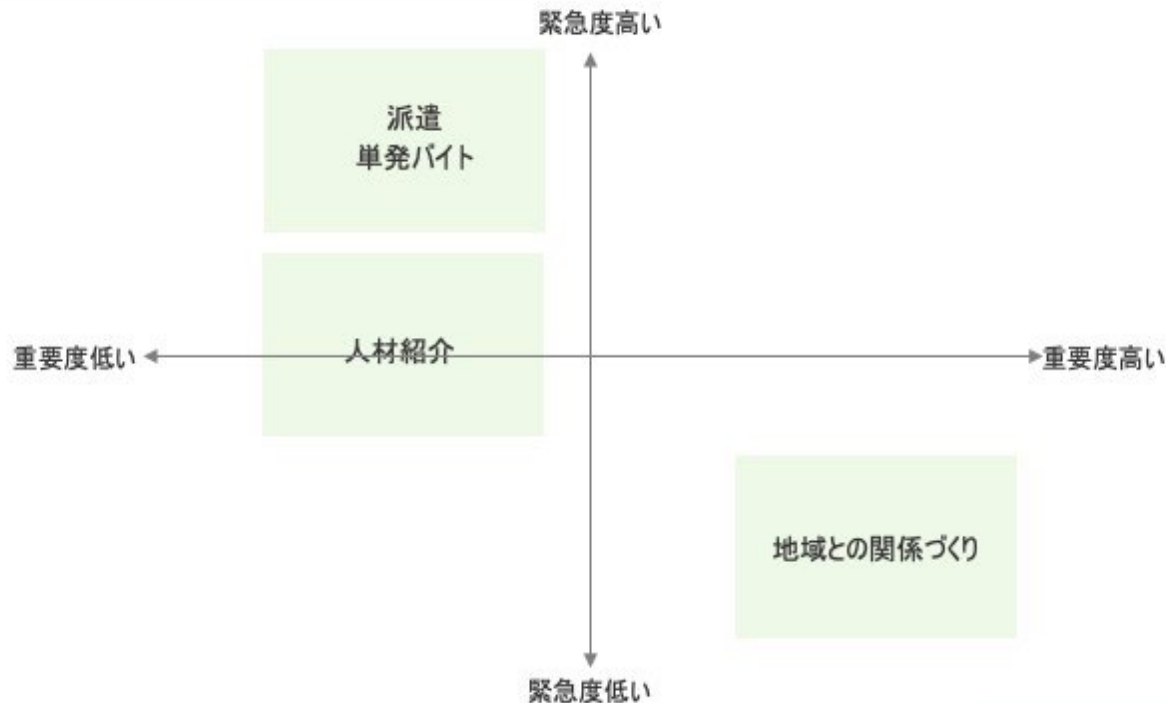
実は介護・障がい施設には資格がなくても手伝える仕事が多くあります
スケッターはそんな業務を切り出してマッチングします

業務のうち40%は無資格・未経験者に依頼できる



「目の前の穴埋め対応」 （負のループ） から抜け出し、人が集まる改善に取り組める

人員確保力向上における緊急度と重要度



事業所のメリット

主な4つのメリット

人材確保



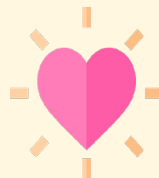
若手人材の確保
魅力的な人材との出会い
ミスマッチのない採用

業務効率化



スケッターに身体介助以外の
業務を依頼することで、
業務効率化
職員の負担大幅減

利用者 満足度向上



レクバリエーションの増加
業務負担が軽減され、
職員はサービスの質の向上
に専念できる

地域交流



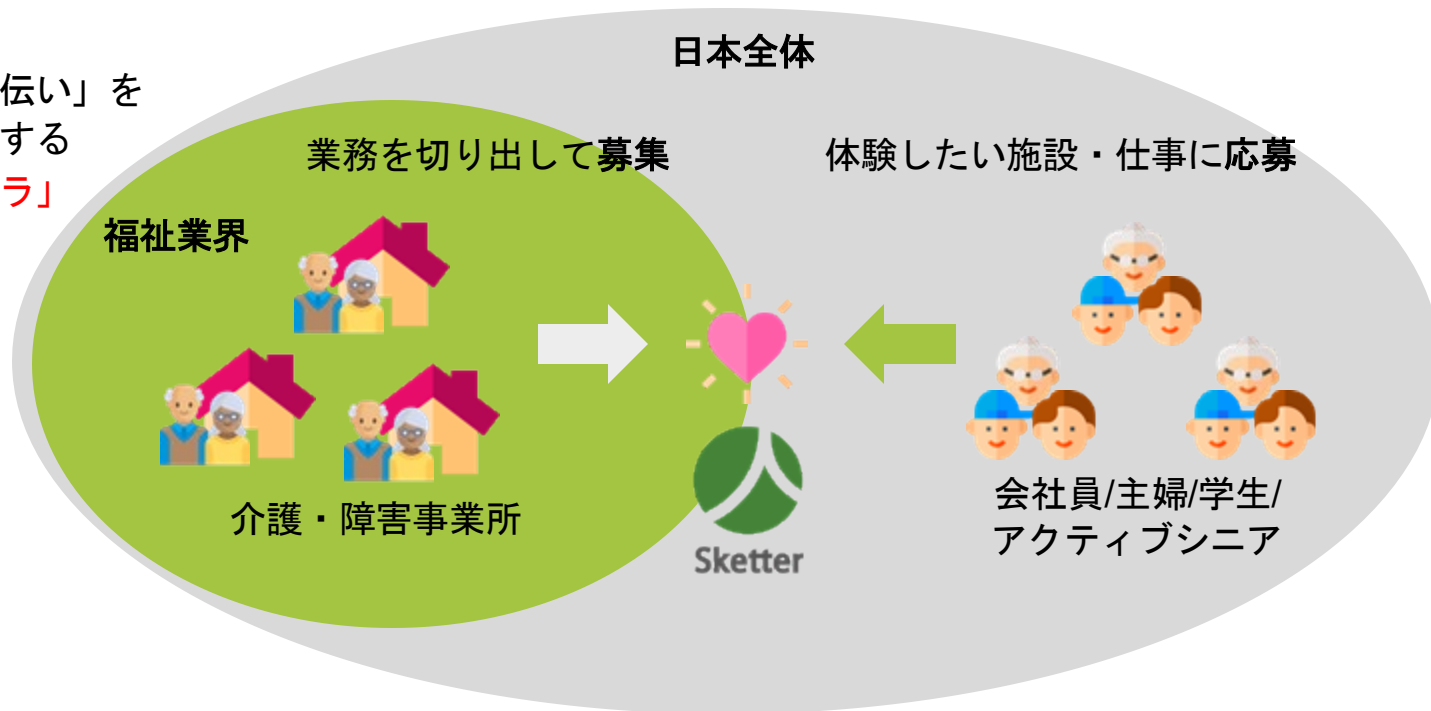
地域共生社会の構築
地域密着の
きっかりづくり

社会全体で支える（地域包括ケアシステムの深化・推進）

不足分を職員だけでカバーする事が難しい。

住民のちょっとした「お手伝い」を
通じて地域全体でカバーする
「令和時代の互助インフラ」
を目指す。

昔からある互助の例：
消防団、町会活動など

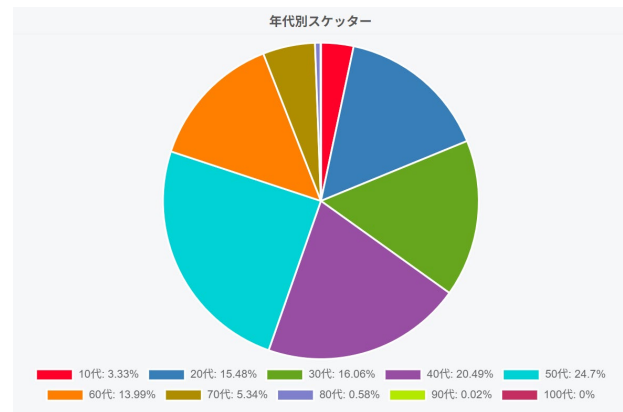


Sketter（スケッター）登録者の特徴

10代～80代まで、幅広い世代、幅広い業界の未経験層が登録し意欲的に活躍

- ・「お金」を稼ぐが目的ではなく、**人の役に立ちたいが一番の目的**
- ・登録者の全てが**介護や福祉に関心**がある
- ・登録者の約7割が介護・障害施設での就業経験がない・足を運んだことがない「**業界外**」（**未経験者**）
- ・職種：学生、会社員、主婦、シニアなど様々
- ・登録した経路：**地域口コミ**や**体験レポート**

スケッターの体験レポート発信により様々な世代の
様々な業界の未経験層が参加



スケッターによる事業所の魅力発信レポートが2,600本突破！



自然豊かに囲まれた綺麗な施設！優しい職員ばかり！



立川 麗佳

2021/08/31

ツイートする

シェアする

LINEで送る

私が体験したお手伝い

人気のレポート



「銭湯からはじまった介護サービス」を見学してきました！

R.K

品川区



コロナ禍でも音楽レクを導入、生演奏の良さを改めて評価頂いて感謝！

コロナ対応、黙奏で行う新音楽セ... 荒川区



自然豊かに囲まれた綺麗な施設！優しい職員ばかり！

立川 麗佳

神奈川県



多面的にかつ楽しく一人一人の利用者を支援する環境だと思います！

立川 麗佳

豊島区



迅速な運営と、利用者様への親身な向き合いが印象的です！

立川 麗佳

神奈川県

事業者とスケッターのマッチングの流れ



地域の活動や福祉に関心がある地域住民とつながることで、
事業所の様々な問題を解決できます

事業所の課題

スケッターでできること

【サービスの質の向上】

01 サービスの質を高めたいが、
時間・人手・アイデアが足りない

→ 利用者の多様なニーズにあったサービスを提供
～本格的なクラシックコンサートからお話相手
まで～

【職員の負担軽減】

02 職員の業務負担が過多
業務の切り出し方が分からない

→ スケッターサイト等で業務の切り出しができ、
職員が苦手なことや大変なことを
スケッターが担い、業務負担が軽減

【魅力発信】

03 魅力の見せ方がわからない
発信ノウハウがない

→ 事業所の魅力を発信でき、
様々な方に関心を持ってもらえる
家族の安心にもつながる

【地域に開かれた事業所づくり】

04 地域とのつながりを持つことが難しい

→ 地域の住民とつながり、**地元ファン**ができたり、
困ったときに様々な相談(依頼)できる

利用者数が増加
利用者のQOLが向上

職員の職場定着率を向上
採用力を向上
→福祉人材不足を解消

既存人材の奪い合いではなく、支える人を共に増やしていく

福祉インフラを維持するカギは昔の日本社会にあった互助文化にあります。

インターネット、SNSの普及により、昔よりも「つながり」を作りやすくなった一方で、「助け合い」という暖かさを持った「つながり」が希薄化している現代。

成長のために誰かを置き去りにする社会ではなく、誰かのために「ちょっとのお手伝い」。年齢、業種、経歴にとらわれず、誰もが自分のできることで介護・福祉に関わる仕組みが必要です。

当社は **一億総福祉人** の時代をつくれます。